

## (5) 評価損益の状況と今後の処理方針

当行におきましては、株式保有リスク削減のため、株式の売却を積極的にすすめ株価変動リスクを圧縮してまいりました。また、15年3月期には株式市場の低迷による含み損を抜本的に処理いたしました。その結果、17年3月末時点で保有残高は取得原価ベースで約2兆円と、合併時の13年4月時点の保有残高約6兆円に比べまして、約4兆円の残高圧縮となりました。

18年3月期におきましても、中長期的な目標であるTier Iの半分程度を目指し、保有株式の圧縮を継続してまいります。

次に、その他有価証券に含まれる保有債券につきましては、16年3月期に約1,000億円の含み損を計上しておりましたが、17年3月期に将来のリスク削減の観点から含み損を処理した結果、17年3月末時点で77億円の含み益となりました。

以上の結果、その他有価証券全体では、17年3月末時点で6,514億円の評価益を計上しております。17年3月期における有価証券等の評価損益の状況については、図表18の通りであります。